

地域の読書環境をもっと豊かに！—読者×書店×図書館×∞

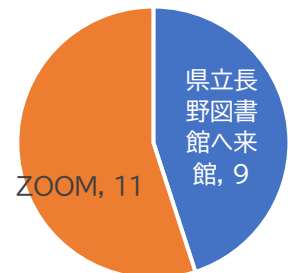
参加者アンケート結果

開催日：令和7年6月14日（土）

アンケート回収枚数：電子16件、紙4件（計20件）

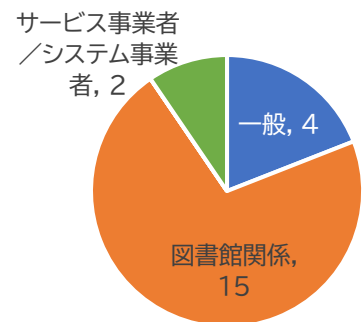
1 参加方法を教えてください。

回答	数	%
県立長野図書館へ来館	9	45%
ZOOM	11	55%
Youtube	0	0%



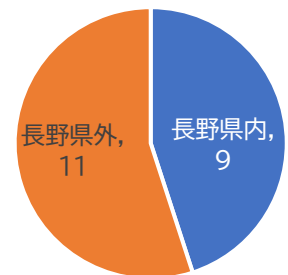
2 ご所属を教えてください。（複数選択可）

回答	数	%
一般	4	19%
図書館関係	15	71%
書店関係	0	0%
取次関係	0	0%
出版関係	0	0%
サービス事業者／システム事業者	2	10%
その他の出版業界関係	0	0%



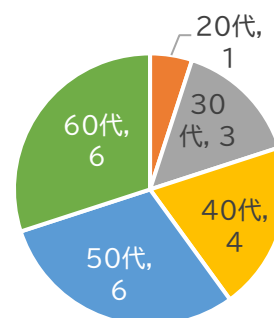
3 お住まいの地域を教えてください。

回答	数	%
長野県内	9	45%
長野県外	11	55%



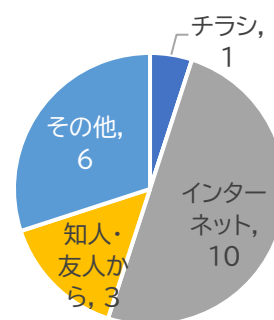
4 年代を教えてください。

回答	数	%
10代	0	0%
20代	1	5%
30代	3	15%
40代	4	20%
50代	6	30%
60代	6	30%
70代	0	0%
80代	0	0%
その他	0	0%



5 この講座を何で知りましたか。(複数選択可)

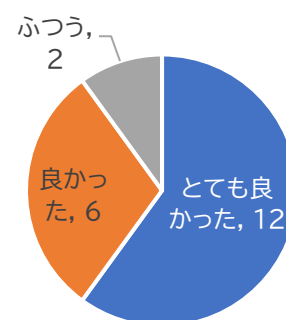
回答	数	%
チラシ	1	5%
新聞	0	0%
インターネット	10	50%
知人・友人から	3	15%
その他	6	30%



その他内訳：sns、図書館総合展メールマガジン、図書館総合展のwebマガジン、職場の研修案内、主催者

6 フォーラム全体の満足度を教えてください。

回答	数	%
とても良かった	12	60%
良かった	6	30%
ふつう	2	10%
わかりにくかった	0	0%
大変わかりにくかった	0	0%



7 「書店・図書館等による連携協議会報告と書店在庫情報プロジェクト」について、ご感想を教えてください。

- ・ とても良い取り組みだと考えます。特に図書館と書店が互いに助け合い、カバーしあえる関係とシステムを作ることは重要であると考えています。もっと詳しく知りたい。特に書店側のシステムについてよく知りたいと思いましたので、そういった研修もあれば是非参加したいと思いました。(20代/図書館関係)

- ・ ニュースでも書店活性化プランについて取り上げられているのを目にしましたが、ここまで辿り着くのにとっても苦労されたと思います。まだまだ取り組みはこれから、という段階ですが図書館側も自治体、首長などにアピールしていくことが大切だと強く思いました。また、「書店と図書館員が学び合える研修」についてぜひ参加してみたいと思いました。図書館側も出版流通について昔と今ではかなり変化してきているのでそうした書店の事情についてもっと知りたいと思いました。(30代/図書館関係)
- ・ 書店在庫プロジェクトはどんどん認知度が広がっていくとよいと思いました。使われるほど充実するサービスだと思います。(40代/サービス事業者/システム事業者)
- ・ 途中参加のため、半分しか拝見していないのですが、とてもいいなあ、と思いました。(40代/図書館関係)
- ・ 周知のとおり、人気図書への予約過多については(複本購入の是非も含め)図書館の悩みの種でした。新たな解決の糸口が提供されることにワクワクしています。今後の動向に注目させていただきます！(40代/図書館関係)
- ・ 現在の全国規模の流れや書店在庫情報の仕組みなどが分かり、流れが整理できて良かったです。(40代/図書館関係)
- ・ 夢がありますね。(50代/一般)
- ・ 松木さんのご発表からは、国内外の動向を大変詳しく教えていただき、政治や経済の流れのなかにしっかり位置付けること、上手く時流に乗ること(時流を作ること)の大切さに気が付かされました。吉本さんのご発表は、明るく前向きになれる内容でした。いつのまにかいろんなサイトに書店在庫情報へのリンクが埋め込まれていて、誰も排除されず誰でも自然に使える民主的なツールを目指されているのだと感じました。これからも一緒に取り組んで行きたいです。(50代/図書館関係)
- ・ 是非進めてほしい取り組みです。(50代/図書館関係)
- ・ 出版文化産業振興財団が、幅広い業務内容で出版業界を盛り立てようとしている努力が伝わってきた。また、カーリルのご担当者の苦労話も今回参加のメンバーなら充分理解ができたのではないかと思った。(50代/図書館関係)
- ・ ぜひ、実現させていただきたいと思います(50代/図書館関係)
- ・ 更なる発展を期待しています。(50代/図書館関係)
- ・ タイムリーな話題で大変に有意義な内容でした。(60代/一般)
- ・ 取り組みを知りませんでしたの学びに繋がりました。(60代/一般)
- ・ この様な企画が進んでいることを初めて知った。「読書文化」「図書館文化」がやせてきていることに寂しい思いや、危惧しているこのごろだがとても心強く思った。(60代/図書館関係)

8 「地元書店からの直接購入が、地域還元につながる～市立岡谷図書館と地元書店の取り組み」について、ご感想を教えてください。

- ・ 理想的かつ魅力的な取り組みだと感じました。地元書店と公共図書館との互いを活かした連携は参考にしたいことばかりでした。持ちつ持たれつ、互いの良さを活かして地域と地域の読書活動を推進していく姿勢に感銘を受けました。(20 代/図書館関係)
- ・ 図書館職員として装備依頼や選書など、普段の業務の中でこのような場面で連携することができるのかと驚きました。出版社の協力による蔵書診断について伺い、専門書やレファレンス書を中心に所蔵している県立長野図書館こそ必要なことではないかと思いました。もちろん、自身で選書の力をつけなくていけないことは大事なのですが、やはり専門の方の目線は必要だと感じました。また、来店型の選書も地元書店だからこそできる取り組みだと思いました。地域に必要な本をしっかりと選んでいくことも図書館員の仕事なので地元書店は心強いパートナーだと思います。(30 代/図書館関係)
- ・ コロナの時期に東京創元社などがやっていた書店の棚写真による蔵書診断を思い出しました。リストでの精査もよいと思いますが、実際の棚の状況からの除籍提案などを出来たらよさそう。(40 代/サービス事業者/システム事業者)
- ・ ウチの地元でもこういう取り組みがあれば、いまある書店が生き残れるのかもしれないな、と思いました。(40 代/図書館関係)
- ・ 読書文化を守るだけでなく、雇用の増加等地域全体の活性化を含めたバランスの良い取り組みモデルであると感じました。(40 代/図書館関係)
- ・ 書店経由での購入について、書店と図書館双方のお話を聞けて大変参考になりました。(40 代/図書館関係)
- ・ 図書館のプレゼン資料が印象的でした。(50 代/一般)
- ・ 笠原社長さんのお話は、すわずらーという諏訪地区の図書館システムを前提として、それぞれの市町村図書館や福祉施設との関係を丁寧に構築されていったことが伝わってきました。2018 年のご提案から 2020 年に実現するまでの準備期間、5 年間取り組まれてきた実績に学ばせていただきました。また、図書館の立場から説明して下さった小坂館長さんのお話があり、理念を共有されていることや相互の関係性を感じられました。「文化の配達夫」、素敵ですね。図書館の本を書店さんで返却するというアイデアが実現したら良いなと思います。(50 代/図書館関係)
- ・ この先の取り組みについて、県内の図書館で皆で一緒に進められると良いと思いました。(50 代/図書館関係)
- ・ 「諏訪モデル」の説明を聞いて、地方書店さんの危機感を持った提案に感銘を受けた。特にローコストな MARC 提案は、かなり踏み込んだ提案であり、良く研究をされていると感じた。(50 代/図書館関係)

- ・ 笠原書店さんと先進的な考えや行動力すばらしかったです(50代/図書館関係)
- ・ 長野市内でも実現できればいいなと思います。(50代/図書館関係)
- ・ 両市の「連携」というよりも「仲良いな関係」が伝わってきました。長野県を起点に、仲良いな方向が全国展開すると良いですね。図書館による地元書店からの購入と、それを支える基盤をつくられたお話が聞けて良かったです。地元の神奈川県藤沢市で実現できないものかと働きかけてみます。(60代/一般)
- ・ 離席していて聞けませんでした、残念です。(60代/一般)
- ・ 前から知ってはいたが、福祉施設の設備が向上した安定供給ができているということで皆様の努力を感じた。そこまで図書館の理解・支援 笠原書店の連携等具体的な取組を教えていただけると嬉しい。(60代/図書館関係)

9 「書店と図書館の連携について～塩尻の事例から」について、ご感想を教えてください。

- ・ 岡谷とはまた違う、しかし互いの良さを活かし合いながら連携する取り組みとしてこちらも参考にしたいことだらけでした。図書館の活動に書店さんも深く関わる、どちらが主役ではなく、1つの大きな波となって地域を飲み込んでいく手法はどれも素晴らしいと感じました。(20代/図書館関係)
- ・ 図書館と書店を行き来できるイベントの実施などとても実践的な取り組みだと思いました。読書手帳を図書館だけでなく「書店で購入した本」の項目を増やすことはおもしろいと思いつつ、本来はこの形であるはずだとも思いました。どの取り組みも読者のことをしっかり考えられていて参考になりました。後から思い出したのですが、図書館で著者の講演会を行い、その登壇者の著書を販売する場合、各自治体でどのように申請をされているのか気になりました。図書館内でカフェの展開や文具を販売する事例も耳にするようになりましたが、公共施設内での販売について勉強不足なので調べてみたいと思いました。(30代/図書館関係)
- ・ 書店と公共図書館が連携しているのは素敵だと思います。せっかく SNS や LINE など便利に繋がる道具が充実している時代なので、大小の書店、公共、小中、高校図書館、その他本に関わるメディアなど、地域での連携密度が高くなるといいなと思います（旅先で見つけた松本の本マップはとてもよかった(40代/サービス事業者/システム事業者)
- ・ 書店が足を運んでもらうために本以外のもの（ガチャ）を置いていたりしますが、図書館と連携して「本」を目当てに行けるようになるのは良いなあ、と思いました。(40代/図書館関係)
- ・ チェーン店でない地元書店が4店も存在していることに、塩尻市の文化レベルの高さをひしひしと感じました。図書館側として本の販売等お金が絡むイベントに及び腰になってしまいがちだったのですが、きっちり考えを改めなければならないと感じました。(40代/図書館関係)

- ・ お二人の掛け合いがとても面白かったです。書店と図書館であれができるというのがとても尊いですね。(40代/図書館関係)
- ・ 良好な関係性が伺い知れました。この関係性を築くまでのプロセスを聴きたい人もいるのでは。(50代/一般)
- ・ 奈良井社長さんと矢澤館長さんの掛け合い漫才のような軽妙なやりとりは、普段からの信頼関係の表われだと思いました。一緒に面白がれること、大切だと思います。4つの書店さん同士や、それぞれの書店さんと図書館との関係性のバランスもとても考えておられるのだろうと拝察いたします。えんぱーくが出来たことが、書店さんと図書館との対立関係を生むのではなく、「本の寺子屋」に象徴されるようなさまざまな協働関係を作ってこられたこと、本当に素晴らしいと思います。ニュースレターの創刊号の言葉は、宝物ですね。そんな関係性が広がって行ったら良いなと思います。(50代/図書館関係)
- ・ 今後も継続して県内でも新たな連携が進めばいいと感じました。(50代/図書館関係)
- ・ 他の参加者からの感想にもあったが、書店と図書館の蜜月的なお付き合いは、他の地域のモデルとして、色々な機会に発信されるべきだと感じた。ここまでのつながりになるには時間がかかることとは思いますが、なかなか進まない地域にとっては、参考になるのではないだろうか。(50代/図書館関係)
- ・ さまざまな連携の形があると新鮮な気持ちでおききすることができました。(50代/図書館関係)
- ・ 長野市内でも長野県内でも全国でも実現できればいいなと思います。(50代/図書館関係)
- ・ 理想的な関係が素晴らしいと感じました。私の住む自治体での取り組み(連携)を承知していませんので調べてみたいです。しかしながら書店や図書館を利用している限りでは連携(イベントなど)はあまり無いです。私はまちづくりの文脈で地域の図書館の役割に期待して活動していますので、どうすれば塩尻市のような関係性になれるのか？(きっかけは？障壁は？乗り越えた理由は？)知りたかったです。*『立秋』買います(書店で) *夏の旅行は塩尻に決めました、図書館行きます！(60代/一般)
- ・ 様々なアイデア、参考にさせていただきます。(60代/図書館関係)

10 パネルディスカッションへのご感想を教えてください。

- ・ 活発な意見交換と、貴重なお話が聴けて良かったです。ただ、自分は知らないことが多く、せっかくのお話を飲み込めなかったのが残念でなりません。自分の不勉強が原因で恐縮ではございますが、さらに詳しく知りたい、できることならそれにたずさわっている当事者の方に教えていただきたいと思います。そういう意味で、とても勉強になりました。(20代/図書館関係)

- ・ 業務で普段から信州ブックサーチ、カーリルをかなり利用しているのでその裏側を知ることができて嬉しかったです。信州ブックサーチを利用する利用者はかなり増加してきているので書店在庫情報プロジェクトを知ってもらえるような働きかけが必要かと思いました。少人数ではありますが、図書館に求めている本がなかった時に買ってでも読みたい人はいます。そうした人に紹介できればと、思いました。また、こうした書店在庫情報プロジェクトに参加するためには、書店では POS レジを利用しているか、在庫状況などのデータ抽出することができるかなど取り組みの最初の一步のハードルの高さは書店によってかなり差があるということも知りました。(30代/図書館関係)
- ・ 松木さんが取次出身でかつ図書館に深く関わってきたことが、とてもいま多くの人を結び付けているなと感じています。応援してます！(40代/サービス事業者/システム事業者)
- ・ 図書の装備については、会場でも意見がありましたが、簡略化出来るものはしていてもいいのかもしれないな、と思いました。(40代/図書館関係)
- ・ 会場の皆さんのご意見も興味深く伺いました。いま少し時間があればもっと盛り上がったように感じます。(40代/図書館関係)
- ・ 全然話が尽きない感じが面白かったです。フロアからの意見も含めて非常に有意義な時間を過ごすことができました。(40代/図書館関係)
- ・ 活字文化議員連盟の方も登壇されたらより興味深い気がしました。(50代/一般)
- ・ 今後、書店在庫情報の中身が充実していくためのシステム要件等をより多くの関係者の方々に広めて行けたらよいなと思っております。また、地元の書店さん、図書館、福祉施設の方を含む地元の方々の中で経済を回しつつ、文化を守っていくには、図書館側の意識改革(市民の方の個々の要求に応えることと、地域全体の経済や文化度を守り向上させて行くことの関わり合いへの理解と、新たな指針)も必要だと感じました。(50代/図書館関係)
- ・ 他業種のそれぞれの話が聞けて大変参考になりました。(50代/図書館関係)
- ・ 今回のパネラーの皆さんは、良い意味で自己主張される方が多かったので、パネラー中心のディスカッションだったように思う(加えて大学の研究者や、法人の上級職の方など)。もう少し底辺で働いている司書の声なども拾って欲しかった。(50代/図書館関係)
- ・ 大変、有意義なディスカッションでした(50代/図書館関係)
- ・ もう少し聞いていたかったです。(50代/図書館関係)
- ・ zoom 終了後の会話がフランクで良かったです。(60代/一般)

1 1 その他、全体をとおしてご意見・ご感想があれば教えてください。

- ・ 全て勉強になりました。自分のこれからの参考にしたいことばかりです。これからもそうした機会（研修や勉強会）を都度都度設けていただければと思います。ありがとうございました。（20 代/図書館関係）
- ・ 嶋田さんが仰っていたように普段の業務の見直しを含めて、できることも、今はできないことでも模索していく必要があると思いました。書店の方々のお話を伺いながら、本が出来上がるまで印刷会社や取次会社など手元に届く本の先を見据えてお仕事されていると思いました。出来上がった本の利活用が図書館側の仕事でもありますが、フォーラムをとおして書店と図書館で読者のために何ができるのかを考えながら、その本を生み出す作家や研究者など著者がいてこそ成り立つ部分でもあるので一緒に取り組むことの必要性を強く感じました。（30 代/図書館関係）
- ・ 青森県の八戸市では、市が運営する書店があるそうです。その書店さんとのディスカッションも見てみたいなと思いました。（40 代/図書館関係）
- ・ 県立図書館に勤務しております。自分の勤めている県も長野県と同様に書店設置率は非常に少なく、図書館も書店もない自治体が全体の 4 割弱となっています。書店と連携しながら地域独自の読書文化を守ること、書店がなくとも学校・公民館と連携を強化すること。県立長野図書館さんの取組みも参考にさせていただきながら取り組んで参りたいと思います。本日はありがとうございました。（40 代/図書館関係）
- ・ またオンラインの配信があれば知人などに案内できればと思います。（40 代/図書館関係）
- ・ ありがとうございました。（50 代/一般）
- ・ 本当に学びのある良い機会でした。有り難うございました。本日が新たなスタートになりますよう、これからも、どうぞよろしくお願いいたします。（50 代/図書館関係）
- ・ 今後も多角的な観点からのアプローチで読書環境について知れるイベントや検討できる機会があると、より自分ごとで考えることができるのではと感じました。皆がそれぞれ自分ごとで考える事が大切だと再認識できました。ありがとうございました。（50 代/図書館関係）
- ・ 自分自身が期待しすぎてしまったせいもあり、全体としては物足りない印象であった。 1)「どうすれば読者とつながれるか」これが、当フォーラムの最大のポイントという理解であったが、その点において、書店さんの危機意識が少し薄いように感じた（図書館とのつながりを強くすることで終わっていた感じであった）。その一例は、信州ブックサーチから書店在庫へつながるシステムである。せっかく利用者に近隣書店の在庫を示すことが出来ているのだから、電話又は web で予約まで結び付けなければ、なかなか「書店へ足を運ぶ」行為につながらないのではないかと感じた（これは主に設計者サイドの課題で、これから設計という説明はあったが、その部分まで踏み込んで欲しかったし、書店側からも強く要望すべき事項だと思う）。

2)「TOSHOP」について 当フォーラムの内容から考えて、当然この「TOSHOP」の実証実験が話題になるかと思ったが、まったく話題に上らなかった。是非参考にして頂きたいと思う

(https://www.trc.co.jp/information/250422_release.html)。

3)「読者にどう届けるか」 パネラーからも発言があったが、町の書店にとって、ネット書店は脅威である。在庫量や、自宅への配達やリードタイムなど全てが脅威ではないだろうか。今回残念だったのは、書店の方が「どうしたら読者は書店に足を運んでくれるか」ということにこだわっていたように思えたことだ。もう待っているだけでは難しいのではないだろうか。いかに読者を見つけて、そばに行けるかを考える必要があるのではないか。その一つが上記2の「TOSHOP」であり、イベント等への出張販売であり、図書館からの予約待ち情報などではないのだろうか。

おそらく今回私が述べたことは、全て「これからの展開」と皆さんは考えておられるのだと思う。今後の展開に期待したい。(50代/図書館関係)

- ・ 持論ですが、シーリングには応じつつ、年間予算と同額の新規事業を提案し、財務担当からの直接ヒアリングを受ける中で、お叱りを受けつつ、文化事業や地域創生の新規なアイデアを伝えることを数年繰り返すことで図書館をアピールできるのでは。実現可能な案とプレゼンを行うことは、図書館や図書館責任者にとってスキルアップと、首長を捕まえる良い機会になります。図書館員と書店員の議論は、全体の枠組みが狭すぎると感じました。(60代/一般)
- ・ ありがとうございます！(60代/一般)
- ・ 出版流通上の課題は、「遅々として進まず」の感ありと思っておりましたが、読者のために、ご利用者のために、日々奮闘されていらっしゃるご登壇者の方々の熱い想いを伺い、今、大きな潮目がきていると強く感じました。これは、ご登壇者の皆さまと、そして関わられている方々の一步一步のご努力の成果なのですね。私も、皆さまの想いを念頭に、読者として、利用者として何ができるのか考えてまいります。本日は、予定時間を越えてのフォーラム、ありがとうございます。(60代/一般)
- ・ とてもよい企画でした。是非継続を。(60代/図書館関係)